

“ロケットクッキングストーブ”で マダガスカル^①の森林減少を緩和

～栃木県の里山エネルギーが地域の資源を活かした社会づくり～

国際協力機構（JICA）は、「中小企業海外展開支援事業～基礎調査～」において、栃木県佐野市の里山エネルギー株式会社（代表取締役 上岡裕）による、「ハイブリッド型ロケットクッキングストーブとエコ燃料の製造販売事業調査」を採択しました。

マダガスカルはエネルギー供給の85%を占める薪や木炭の生産により急激に森林が減少しています。それに伴う斜面崩壊がもたらす水田や湖沼における土砂埋没被害が喫緊の課題となっています。

里山エネルギー（株）の薪・粉炭併用可能なハイブリッド型ロケットクッキングストーブと廃棄オガ粉や未使用もみ殻を原料とするエコ燃料の普及により、マダガスカル^①の環境改善と森林消失の緩和が期待されます。



【ロケットクッキングストーブ】



【森林消失と崩壊】

今回の調査で森林資源の保全、自然循環型資源の活用の観点から、ストーブとエコ燃料の有効性を検証し、今後の事業展開に向けた検討を行います。

なお、本調査は優れた製品や技術を有する中小企業が途上国に進出することによる開発課題解決の可能性及びODA事業との連携可能性を検討するもので、検討に必要な基礎情報の収集と海外展開事業計画の策定を目的とした「中小企業海外展開支援事業～基礎調査～」として実施される事業で、2015年度は昨年9月に公示を行いました。40件の応募のうち17件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次事業を実施します。

参考: (プレスリリース) 基礎調査 2015 年度公示分の採択結果について

URL: http://www.jica.go.jp/announce/notice/fs/ku57pg00001pm6r5-att/fs_20150904_result.pdf

【本件に関する問い合わせ先】

筑波国際センター研修業務・市民参加協力課 担当：小峯

TEL: 029-838-1117 E-mail: jicatbic@jica.go.jp